		令和6年度 横浜市福祉調整委員会会議録
目	時	令和7年3月21日(金)午後5時~5時40分
開催場	所	調停委員会室(市庁舎 15 階北側)
出 席	者	川島 通世、小林 幸栄、下尾 直子(代表)、西村 貴直、福馬 健一(50音順)
欠 席	者	松﨑 尊信
開催形	態	公開(傍聴者なし)
議	事	令和6年度申立案件の振り返りについて
決定事	項	なし
開	会	事務局から会議及び議事録の公開について説明。傍聴人について報告。 課長あいさつ。
議	事	(横浜市福祉調整委員会運営要綱第8条の規定により、代表委員が議長として議事を進行)
		(下尾代表委員) 議事進行を務めさせていただく。会議の定足数は委員数6名の過半数で、出席者は5名で定足数に達しているので、これより会議に入らせていただく。 本日は、申立案件の振り返りを議題にしているが、初めに、事務局から令和6年度の業務実績報告をいただく。 (事務局)《資料に基づき令和6年度の業務実績報告について報告》 (下尾代表委員)御質問、御意見はいかがか。 それでは申立案件の振り返りを行う。No. 1の事例について事務局から説明をいただく。 (事務局)《資料に基づき事例No. 1の概要について説明》 (下尾代表委員)御質問、御意見はいかがか。 次にNo. 2の事例について事務局から説明をいただく。 (事務局)《資料に基づき事例No. 2の概要について説明》 (下尾代表委員)御質問、御意見はいかがか。 次にNo. 3の事例について事務局から説明をいただく。 (事務局)《資料に基づき事例No. 3の概要について説明》 (下尾代表委員)御質問、御意見はいかがか。 次にNo. 3の事例について事務局から説明をいただく。

それでは今年度の振り返りを述べさせていただく。

今年度は800件を超える過去一番の相談件数となり、申立案件は3件であった。御対応いただいた事務局、担当委員の皆様に感謝、御礼申し上げる。全体の傾向は、一つの案件に障害、高齢、生活保護の話が全て絡み合い、御家族の絡みがあると色々な所管課が関わらなければならない案件が非常に多いと感じた。福祉の世界では、色々な分野が複層的に絡み合うことは昔から言われてきたことで、市役所内でも所管課の連携は言われてきたことだが、この時点では連携を超えて(所管課という考え方そのものがどうなのだろうかと思うくらい)、連携だけでは済まされないそのような案件が増えてきていると思う。そのようなことから、個人的に当委員会へ話を聞いてもらいたいと電話をかけてこられることとなり、本委員会事務局の立ち位置、意義は非常に大きいと思う。個々の案件に丁寧に対応していくことが、今、福祉に求められている姿なのではないか。それがこれからどのように市政に反映されていくのか、私たちの重要な役割と感じる。

(下尾代表委員)以上で令和6年度福祉調整委員会公開会議を終了する。

資 料

1 資料

(1) 令和6年度横浜市福祉調整委員会 次第

特記事項

(2) 令和6年度申立案件振り返り

2 特記事項

なし